

多核種除去設備（既設ALPS）C系 CFFスキッド2内における滴下の発生について

2018年6月28日

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

概要及び時系列

■ 概要

- 多核種除去設備C系の前処理設備（ステージ2）におけるクロスフローフィルタ（CFF）下部（漏えい受けあり）に水溜り（10cm×10cm×1mm）を確認。
- 水溜りは多核種除去設備建屋のCFF(C)スキッド2内に留まっており建屋外への流出はない。
- 漏えい水の線量測定を実施した結果 2 μ Sv/h（BG2 μ Sv/h）を確認した。
- CFF3Cドレン弁のボンネット部に水濡れが確認された。
- 漏えいは微量であるため、当該弁における詳細な漏えい箇所特定には至っていない。

■ 時系列

【6月9日】

- 18：55 既設ALPS(C)「運転」
- 19：25 CFF3C廻りにおいて漏えいによる水溜り確認。
CFF3Cドレン弁(F235C) に水濡れを確認。
- 19：50 既設ALPS(C)緊急停止。
- 20：05 漏えい停止を確認。

【6月11日】

- 10：30 漏えい確認のため循環運転実施。
CFF3Cドレン弁の水濡れが再発したが、微量であるため漏えいの詳細箇所特定には至らず。

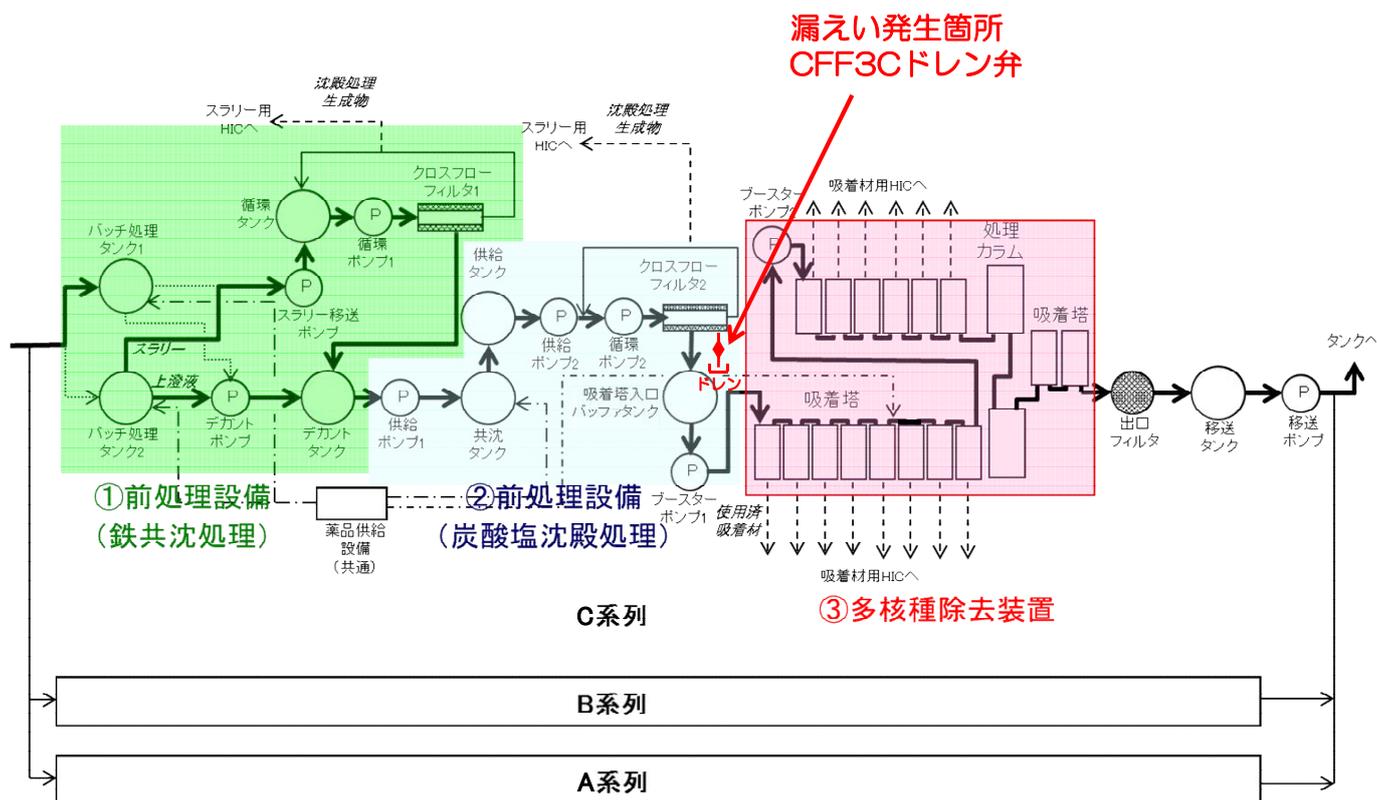
【6月13日】

当該ドレン配管を取外して閉止フランジを敷設し、処理再開ができるようにした。

TEPCO

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

漏えい推定箇所

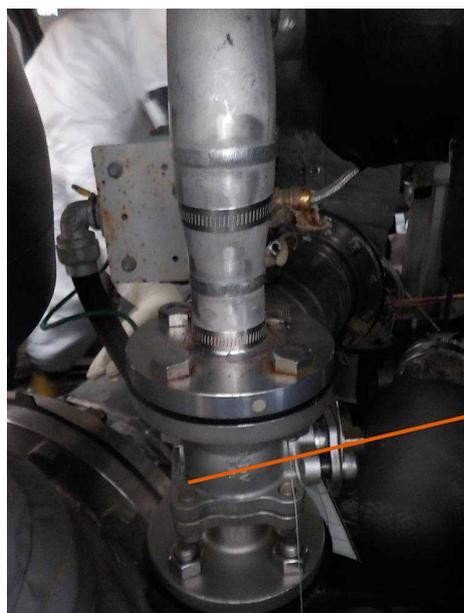


TEPCO

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2

漏えい状況と今後の予定



水ぬれ確認箇所



■今後の予定

- ✓当該ドレン配管について、漏えい個所の詳細調査を行う。

TEPCO

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

3